

第51回 土木情報学シンポジウム プログラム

2026年9月16日(水)

第1会場	第2会場
9:45-9:55 開会挨拶 ()	
10:00 - 11:40 Ⅰ-1 点群解析・維持管理 座長: 岡田 慎哉(国土交通省) 主成分分析を用いた橋脚の点群データの形状種別の推定に関する試行 ○南 李玖・中原 匡哉(大阪電気通信大学)、梅原 喜政(摂南大学) 点群データを用いた橋梁LOD2.1のドラフティングモデルの生成に関する研究 ○今村 賢人・田中 成典・政木 英一(関西大学) 点群データを用いた橋梁部位のインスタンスセグメンテーションに関する研究 ○今村 賢人・田中 成典・政木 英一(関西大学) ミリ波レーダによる模擬河川堤防越水時の流速測定 ○佐藤 雄太・孫 冉・武田 茂樹(茨城大学) 点群データに基づく円形断面鋼部材のはり曲げ変形と局部座屈変形量の推定 ○海老澤 健正・神谷 勇有真(名古屋工業大学)、水野 剛規(岐阜工業高等専門学校) 河道内における電波タグ設置礫材の追跡調査結果再現計算について ○伊東 正・濱木 道大(開発工営社)	10:00 - 11:40 Ⅱ-1 GNSS・MMS 座長: 森 博昭(中央復建コンサルタンツ) MMSの非GNSS環境下におけるIMUの 精度劣化状況の検証 ○諏訪 喬祐(日本大学)、室井 和弘(エアロトヨタ)、岩上 弘明(ニコン・トリンブル) 移動と静止を伴うCLAS測位における再初期化時間に関する研究 ○笹野 太希・佐田 達典(日本大学)、村山 盛行(フィールドテック) GPSのキネマティック解析におけるL5帯信号の利用効果に関する検証 ○佐田 達典・李 勇鶴(日本大学)、梶田 大暉(マイタウン) MMS計測における直進時と旋回時の取得点群比較による旋回の影響評価 ○佐田 達典(日本大学)、高橋 秀昌(中日本高速道路)、山口 裕哉(エアロトヨタ) MMS車両の急発進・急停止時における 取得点群による計測特性の分析 ○室井 和弘(エアロトヨタ)、佐田 達典(日本大学)、石橋 優希(静岡県) GNSS又はトータルステーションを用いた相対高さによる滑走路の勾配評価 ○河村 直哉・荒井 淳希・坪川 将丈(国土交通省)
12:30 - 14:00 Ⅰ-2 防災・災害対応 座長: 塩崎 正人(JR東日本コンサルタンツ) 画像解析・交通流解析・津波遡上解析を組み合わせた被災自動車の発生源推定 ○三宅 健太郎・山中 翔・田内 裕人(和歌山大学) 災害廃棄物の運搬効率化に向けた 経路最適化および交通シミュレーションの適用 ○中右 凌雅・丸山 結貴弥・田内 裕人(和歌山大学) RAGによる他県の経験知を反映した地域防災計画改定支援に関する一考察 ○遠藤 悠人(法政大学)、中村 健二(大阪経済大学)、坂本 一磨(公立小松大学) 市民参加型橋梁状況通報システム “Voices of Bridges” の構築 OZHANG ZHENLONG・稲富 翔伍・河村 圭(山口大学) 災害特性と社会的コンテキストが若年層の避難意思決定に及ぼす影響―没入型VR実験データの横断的比較分析― ○山口 恭平(群馬工業高等専門学校) 洪水浸水による地上設置型PVパネルからの災害廃棄物発生量の推計 ○杉本 賢二(大阪公立大学)、林 希一郎(名古屋大学)	12:30 - 14:10 Ⅱ-2 画像認識と交通 座長: 石濱 裕幸(安藤・間) 単眼深度推定技術を用いた自動車の速度推定に関する研究 ○亀田 友陽・田中 成典(関西大学)、寺口敏生(流通科学大学) 複数画像の統合処理による盛土材料の粒度分布計測手法の検討 ○山中 哲志(大林組)、徳井 奈保(シャープ) 画像処理に基づく連続ベルトコンベヤへの鋼管混入検知システムの開発 ○鈴木 亮汰・武市 直人・坂本 秀夫(飛鳥建設) サーマル映像解析による 歩行者属性の取得と人流の可視化の基礎的検討 ○安室 喜弘・窪田 諭(関西大学) 物体検知アルゴリズムにより得られた歩行軌跡データによる小学生の歩行挙動特性の分析 ○西内 裕晶(高知工科大学)、岩原 雄大(復建調査設計) QUBO化SVRIによる指定廃棄物の搬送時間予測手法の適用性に関する基礎的検討 ○丸山 結貴弥・羽淵 博臣・榎本 裕生(奥村組)
14:30 - 16:10 Ⅰ-3 リモートセンシング・GIS 座長: 渡邊 武志(パシフィックコンサルタンツ) 時系列Suomi-NPP夜間光衛星画像を用いた日本全国の都市構造変化の実態調査 ○関根 望結・羽柴 秀樹・園部 雅史(日本大学) マルチスケール画像に対するSwin-Unetを用いた 土砂部および主要地物識別器の開発 ○劉 暁松・稲富 翔伍・河村 圭(山口大学) 航空レーザ計測データを用いた道路面日照解析手法の提案と適用 ○山本 一浩(八千代エンジニアリング) 火災後航測LP データから求めた樹冠高・被覆 率・地形量とdNBR 焼損程度との関係の検討 ○中村 公一(鳥取大学)、新開 綾香・今西 将文(ウエスコ) 大槌町林野火災の焼損程度と地形との関係・Sentinel-2 dNBR・RdNBR解析 ○新開 綾香・今西 将文(ウエスコ)、中村 公一(鳥取大学) 地形・植生情報を用いた山間部LPWA電波伝搬予測の精度検証とGW配置計画への適用 ○河村 知記(五大開発)	14:30 - 16:10 Ⅱ-3 3Dモデル 座長: 中嶋 道雄(若築建設) 点群データを用いた建築物のLOD2.0モデルの自動生成に関する研究 ○石坂 愛里・田中 成典・政木 英一(関西大学) 3D Gaussian Splattingと仮想標尺を用いた配筋検査画像生成手法の適用性検証 ○小林 頼和・窪田 諭・安室 喜弘(関西大学) ゲームエンジンのUIを活用した3次元点群データ線図化の検討 ○鈴木 丈・窪田 諭・安室 喜弘(関西大学) 複数の状態を有する描画点による多様なファサードの3次元建物モデルの自動生成 ○村瀬 孝宏(中京学院大学)、杉原 健一・沈 振江(金沢大学) エントランスを持つ3D建物モデルの自動生成 ○杉原 健一・滕 瀟(金沢大学)、沈 振江(福州大学) GIS情報共通基盤における3Dモデルの精度確認と画像データ自動連携手法 ○伊藤 信・大島 竜二・栗林 健一(東日本旅客鉄道)
16:10 - 16:30 表彰	
17:00 交流会	

第51回 土木情報学シンポジウム プログラム

2026年9月17日(木)

第1会場	第2会場
10:00 - 11:40 Ⅰ-4 3Dデータ・AI座長: 城古 雅典(KAYA) スマートグラスを用いたデジタル マーカーベースMR可視化システムの構築と 水域環境への適用 ○石川 隼也・樫山 和男(中央大学)、大原 幸大(五洋建設) 点群データを用いた鉄道地物の自動分割に関する研究 ○佐藤 涼太・田中 成典・小林 孝史(関西大学) 高精度・高密度計測技術の活用による 実験のデジタルツインの実現に向けた検討 ○橋本 尚史・海老澤 健正・日高 菜緒(名古屋工業大学) 設計・解析情報を統合的に扱うためのLLM対話型インターフェースの構築 ○久瀧 裕太・宮田 秀太(大日本ダイヤコンサルタント) 3D都市モデルの建築物詳細度がGNSS可視性とマルチパスシミュレーションに与える影響 ○李 勇鶴・佐田 達典(日本大学) PCA主軸ブロック分割による大規模な鉄道沿線シーンの3D Gaussian Splatting手法の提案 ○大島 竜二・藏本 悠太・栗林 健一(東日本旅客鉄道)	10:00 - 11:40 Ⅱ-4 UAV・SfM・LiDAR座長: 井口 重信(calta) UAV自律飛行対応LiDAR-SLAMセンサユニットを用いた1mメッシュ標高の精度検証 ○山田 薫(日本大学)、室井 和弘(エアロトヨタ)、岩上 弘明(ニコン・トリンブル) フォトグラメトリを用いた 水面を含む構造物の3 次元計測手法 ○安室 喜弘・坂元 秀太・窪田 諭(関西大学) 小規模崩落斜面の三次元モデル生成における計測誤差低減に関する研究 ○木村 優介(大阪工業大学)、稲里 修大(元 大阪工業大学)、西尾 美由莉(元 京都大学) UAVおよびLiDAR SLAMの統合点群を用いた那珂川大橋の3次元情報の生成 ○桑原 祐史・伊藤 丈(茨城大学)、今井 靖晃(国際航業) SfM/MVSによる点群生成に必要な照度条件に関する基礎的研究 ○渡邊 祥庸・小川 桜子(群馬工業高等専門学校) 映像圧縮技術を用いたUAV写真測量向け空撮画像圧縮ツールの開発と評価 ○瓜本 拓也・加藤 晴久・木谷 佳隆(KDDI総合研究所)
12:30 - 14:00 Ⅰ-5 施工DX座長: 澤村 修司(山口県) 床面研磨作業の仮想環境構築に向けた四輪ロボットによる床面形状取得システムの検討 ○早川 拓・徳永 雄一(金沢工業大学) 空間IDに基づくボクセルモデルを用いた土工の出来高管理の適用可能性に関する一考察 ○門田 智大(法政大学)、中村 健二(大阪経済大学)、塚田 義典(麗澤大学) 山岳トンネル施工における 通信基盤の構築と施工管理業務の効率化 ○星加 夢輝(安藤・間) 盛土の面的品質管理のための転圧機械搭載型LiDARによる沈下量計測手法の検討 ○芝田 達也・笠原 康平・杉本 英治(鉄道総合技術研究所) 遠隔施工のための3DCGデータセットを用いた単眼深度推定技術に関する研究 ○中東 慎也・田中 成典(関西大学)、寺口 敏生(流通科学大学)	12:30 - 14:00 Ⅱ-5 道路座長: 石内 鉄平(宮城大学) 点群データの道路地物の分割における深層学習と機械学習の併用手法に関する研究 ○新陸海・田中 成典・政木 英一(関西大学) 点群データを用いた交通(道路)LOD3.0のドラフティングモデルの生成に関する研究 ○新陸海・田中 成典・政木 英一(関西大学) 歩道路面の点検に資する3次元データ処理手法の検討 ○盛 祥平・富山 和也・吉田 昂(北見工業大学) 自動物流道路構想における光ファイバセンサを用いた道路上異常検知の可能性検証 ○関口 菜々子・今井 道男・川端 淳一(鹿島建設) 舗装マネジメントの高度化に関する研究 ○山崎 元也(山崎技術事務所)
14:20 - 16:50 特別講演	
16:50 - 17:10 優秀発表賞表彰	
17:10 閉会挨拶 ()	

2026年8月7日更新